

東アジア藝文書院・ ジャーナリズム研究会 第十回研究会



東アジア藝文書院

【日時】2023年12月23日(土) 15:30～18:20 (開場 15:00)

【場所】101号館 EAA セミナー室

対面参加を希望される場合は、12月16日(土)までに、登録フォームに必要情報をご入力ください。
会場の収容人数に達した場合は、誠に勝手ながら予告なく締め切らせていただく場合がございます。
<https://forms.gle/kC8pfywC1C9MvKbh9>

Zoom ミーティング

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZApdu2vqz0jGNcHROHdQrcF-7qZGgrlU8mp>
セキュリティ確保のため、氏名、メールアドレス、所属を前日までにご登録ください。

【発表者・発表題目】

高原智史 (TAKAHARA Satoshi) 東京大学大学院 総合文化研究科博士課程。近代日本思想史。
校風論再考——一高生が校風を語ることで何が起きたか

鶴田奈月 (TSURUTA Natsuki) 東京大学大学院 総合文化研究科博士課程。日本近代文学。
明治中期における報道挿絵の試み——『国民新聞』を例として

東崎悠乃 (HIGASHIZAKI Yuno) 東京大学大学院 総合文化研究科博士課程。比較文学・芸術。近代日本文学。洋楽受容史。
第二次『早稲田文学』彙報欄における音楽批評

石川真奈実 (ISHIKAWA Manami) 東京大学大学院 総合文化研究科博士課程。日本近現代文学。古典受容。
昭和10年前後における『人民文庫』の役割——誌面構成の変遷を手掛かりに

尾崎永奈 (OZAKI Ena) ポストン大学 アメリカ・ニューイングランド研究科博士課程。アメリカ近現代史・文化史・メディア史。
小さくも力強い武器を求めて
——19世紀末アメリカにおける女性ジャーナリストの組織化とプレスとの役割

【司会】

前島志保 (MAESHIMA Shiho) 東京大学大学院 総合文化研究科教授。比較出版史、メディア史、比較文学・文化。

【連絡先】登録などに関して、なにかあれば society.of.journalism@gmail.com までご連絡ください。

【助成】本会は、EAAの助成を受けています。

【共催】東アジア藝文書院 (EAA) ・ジャーナリズム研究会